

特別支援学校中学部生徒の 休憩時間において 本を閉じることができるための支援

指導目標

“タイマーが20秒鳴った後，教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に，本に手をかけることができる



事例の概要

【対象生徒】

- ・ 中学部生徒 知的障がい,肢体不自由
- ・ 発達年齢：0歳9か月

【指導場面】

- ・ 昼休み

【般化場面】

- ・ 休み時間

【教材】

- ・ 本, クリップ, タイマー, スケジュール



本



スケジュール

実態

- 好奇心旺盛で、身の回りで気になった物に、手を伸ばして触ったりつかんだりする。
- 自分がやりたいことに対して、指差しし、「アーアー」と言って強く要求してくることがある。要求が通らないと、悲しそうに泣くことがある。
- 人が好きで、人に話しかけたり笑顔を示したりして、人と関わろう、コミュニケーションをとろうとする姿がよく見られる。
- 褒められることが好きなようで、褒められると、大人を見て笑顔を示す。

事例に取り組もうと思った理由

- タイマー音や教師の声かけを聞いて、自主的に、今している活動を終了したり、片付けに取り組んだりしてほしいと思ったから。
- 将来的に、施設に入所し、施設で生活するようになった時、時間で行動できるようになってほしいと思ったから。

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: B

A(環境設定や教示)
・教える手順を時系列に書く
・修正の仕方を書く 等

指導場面: 昼休み

○介入1

- ①本を準備し、クリップを付けておく。
- ②読書の時間になったら、本を2冊提示し、読みたい本を1冊選ぶよう声かけする。
- ③読み始めてから5分経ったら、タイマーを20秒鳴らす。20秒鳴った後、「終わり」と声かけする。それを2セット行い、2セット行っている間に、本生徒が本に手をかけて本を閉じようとしたら、タイマーを止める。
- ④タイマーが鳴っている間や声かけで、本に手をかけて本を閉じることができたら、「終わったね。すごいね。」と声をかけ、本を受け取る。
- ⑤“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」と声かけ”を2セット行ってから10秒経っても本に手をかけようとしないうちに、“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」の声かけ”を続け、いつ本に手をかけるか見守る。
- ⑥本に手をかけて本を閉じることができたら、「終わったね。すごいね。」と声をかけ、本を受け取る。

B(指導目標)

- ・2～3週間で達成できる
具体的な目標を記入する

“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に、本に手をかけて本を閉じることができる。(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけて閉じようとしたらOK)

C(結果)

- ・強化の仕方

・褒め言葉
「終わったね。
すごいね。」

教材 : 本, クリップ, タイマー

指導計画立案シート様式Ⅱ

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: B

指導目標: “タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に, 本に手をかけて本を閉じることができる。

指導場面: 昼休み

【指導期間】

・介入1
10月19日(水)～10月21日(金)

【達成基準】

“タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に, 本に手をかけて本を閉じること(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけて閉じようとしたらOK)が, 10回(1日1回)試行中8回できたら達成とする。

【中止・再考の基準】

・5回試行しても標的行動(指導目標)が生起しない時は, 指導目標や手立てを再考する

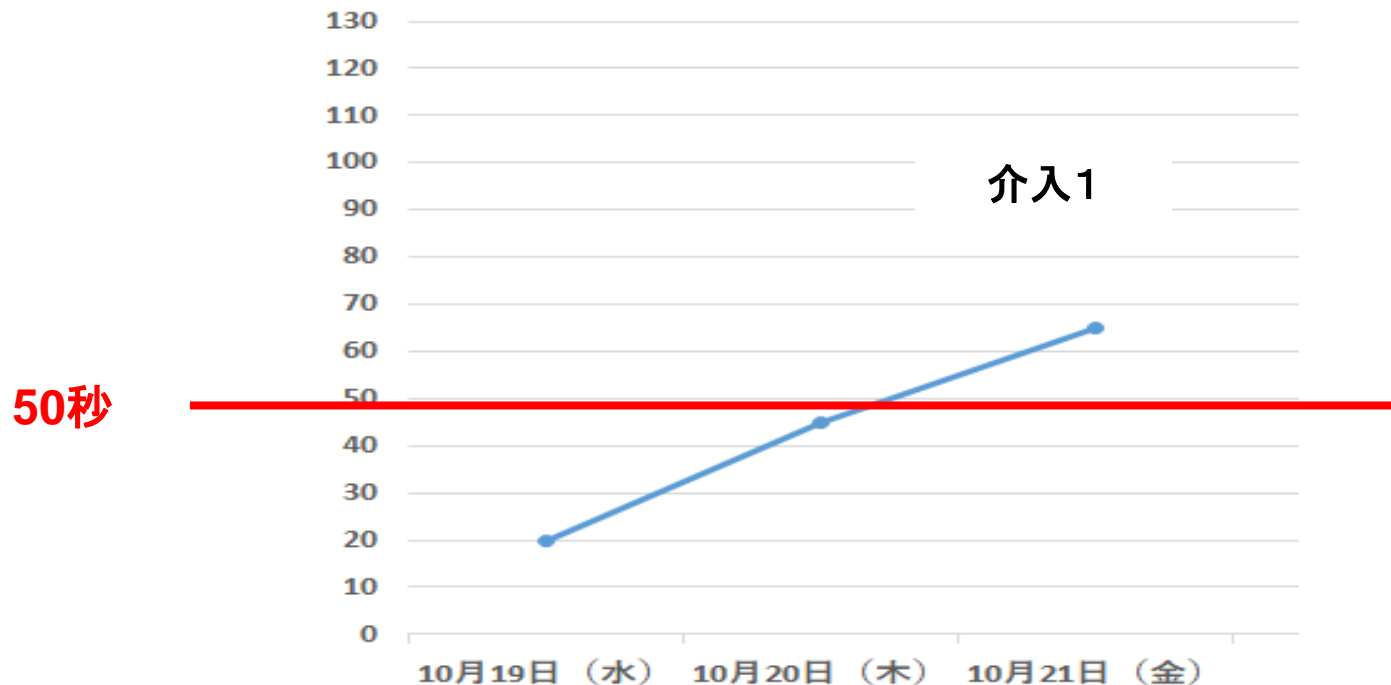
【記録表】

記録の取り方: 身体ガイダンスなし…2点, 身体ガイダンスあり…1点, 身体ガイダンスありでもできなかった…0点

	例 10/〇(曜日)				
本の名前					
“タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている時に, いつ終わったか? ※ステップ1は, 本に手をかけ本を閉じられるまで, 2セットを超えても続ける ※1回目のタイマーが鳴ってから, 本に手をかける行動が見られるまでを計測					
点数(2点 or 1点 or 0点)					

介入1:1回目のタイマーが鳴ってから、何秒で本に手をかけて本を閉じようとしたか

(秒)



毎回、給食終了後、本を読む時間になるまで、本を指差して「アーアー」と言い続けるので、急遽、ステップ2で、スケジュールを導入することにした

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: B

- A(環境設定や教示)
- ・教える手順を時系列に書く
- ・修正の仕方を書く 等

指導場面: 昼休み

○介入2

- ①本を準備し、クリップを付けておく。
- ②スケジュール(ミニホワイトボードに絵カードを貼っておく)を準備し、給食から5時間目の授業まで(12時20分から13時30分)の予定を説明する。スケジュールは、本生徒が活動中は、手が届かない、本生徒が目に見える場所に置いておく。
- 活動の切り替え時のみ、ミニホワイトボードを本生徒の前に提示し、教師が終わった活動のカードを外し、次の活動のカードを指さしする。
- ③読書の時間になったら、本を2冊提示し、読みたい本を1冊選ぶよう声かけする。
- ④読み始めてから5分経ったら、タイマーを20秒鳴らす。20秒鳴った後、「終わり」と声かけする。それを2セット行い、2セット行っている間に、本生徒が本に手をかけて本を閉じようとしたら、タイマーを止める。
- ⑤タイマーが鳴っている間や声かけで、本に手をかけて本を閉じることができたら、「終わったね。すごいね。」と声をかける。
- ⑥“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」と声かけ”を2セット行ってから10秒経っても本に手をかけようとしなければ、身体ガイドダンスで本に手をかけて本を閉じるよう促す。

B(指導目標)

- ・2~3週間で達成できる
- 具体的な目標を記入する

C(結果)

- ・強化の仕方

“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に、本に手をかけて本を閉じることができる。
(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけて閉じようとしたらOK)

・褒め言葉
「終わったね。すごいね。」

教材 : スケジュール, 本, クリップ, タイマー

指導計画立案シート様式Ⅱ

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: B

指導目標: “タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に, 本に手をかけて本を閉じることができる。

指導場面: 昼休み

【指導期間】

・介入2
10月24(月)～11月25日(金)

【達成基準】

“タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に, 本に手をかけてること(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけて閉じようとしたらOK)が, 10回試行中8回できたら達成とする。

【中止・再考の基準】

・5回試行しても標的行動(指導目標)が生起しない時は, 指導目標や手立てを再考する

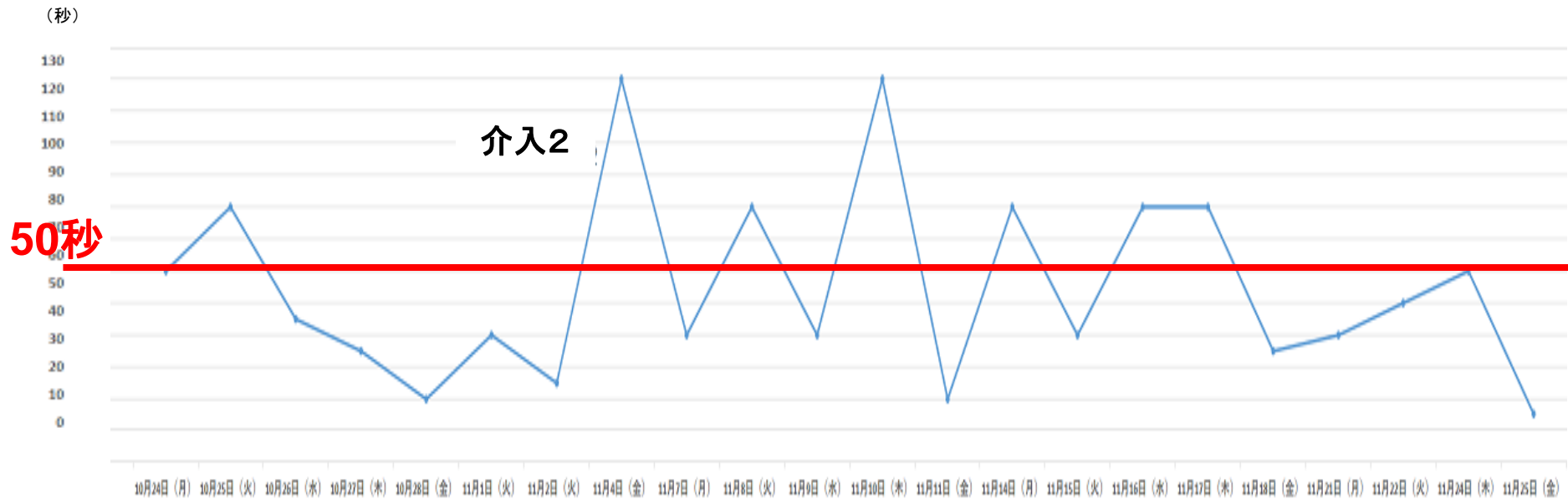
【記録表】

記録の取り方: 身体ガイダンスなし…2点, 身体ガイダンスあり…1点, 身体ガイダンスありでもできなかった…0点

	例 10/○(曜日)				
本の名前					
“タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている時に, いつ終わったか? ※1回目のタイマーが鳴ってから, 本に手をかける行動が見られるまでを計測					
点数(2点 or 1点 or 0点)					10

介入2:1回目のタイマーが鳴ってから、何秒で本に手をかけて本を閉じようとしたか

介入2:スケジュール導入



目標達成に至らなかった・・・

介入3に向けて グループの話し合いでたアイディア

- C(結果)に, iPadで動画を見る活動を導入
- 本の種類をかえる(閉じやすい本)
- 他の休憩時間に本を読む機会をつくり, 飽和化させる
- 本を読む時間を10分間にし, 長めに設定する
- 閉じにくい時に, すぐに身体ガイダンスをする
- 教師と一緒に, 本を読む時間を設ける



- ・教師と一緒に本を読みたいのではないか
- ・本を閉じられる時と, 上手く閉じられない時がある

☆介入3にむけて

- ・本を読む時間を10分間にし, 最初の7分間は一人で読み, 後半の3分は教師と一緒に読む時間を設ける
- ・本に手をかけたら本を閉じようとしたと判断し, 身体ガイダンスで本を閉じるよう促す。

担当教員: B

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

指導場面: 昼休み

A(環境設定や教示)

- ・教える手順を時系列に書く
- ・修正の仕方を書く 等

○介入3

- ①本を準備し、クリップを付けておく。
- ②スケジュール(ミニホワイトボードに絵カードを貼っておく)を準備し、給食から5時間目の授業まで(12時20分から13時30分)の予定を説明する。スケジュールは、本生徒が活動中は、手が届かない、本生徒が目に見える場所に置いておく。活動の切り替え時のみ、ミニホワイトボードを本生徒の前に提示し、教師が終わった活動のカードを外し、次の活動のカードを指さしする。
- ③読書の時間(10分間)になったら、最初にタイマーを提示し、「タイマーが鳴ったら終わりだよ。」伝え、動物図鑑を手渡す。
- ④読み始めてから7分が経過したら、3分間、本生徒と一緒に本を読む。
- ⑤読み始めてから10分経ったら、タイマーを20秒鳴らす。20秒鳴った後、「終わり」と声かけする。それを2セット行い、2セット行っている間に、本生徒が本に手をかけたら、タイマーを止める。
- ⑥タイマーが鳴っている間や声かけで、本に手をかけることができたら、「終わったね。すごいね。」と声をかける。
- ⑦“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」と声かけ”を2セット行ってから10秒経っても本に手をかけようとしないうちは、身体ガイダンスで本に手をかけて本を閉じるよう促す。

B(指導目標)

- ・2～3週間で達成できる
- 具体的な目標を記入する

“タイマーが20秒鳴った後、教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に、本に手をかけることができる。
(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけて閉じようとしたらOK)

C(結果)

- ・強化の仕方

・褒め言葉
「終わったね。すごいね。」

教材 : スケジュール, 本, クリップ, タイマー

指導計画立案シート様式Ⅱ

学年・生徒氏名(イニシャル): 中学部生徒

担当教員: B

指導目標: “タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に, 本に手をかけることができる。

指導場面: 昼休み

【指導期間】

・介入3
11月29日(火)～12月16日(金)

【達成基準】

“タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている間に, 本に手をかけて本を閉じること(2セット目の「終わり」の声かけから10秒以内に本に手をかけて閉じようとしたらOK)が, 10回試行中8回できたら達成とする。

【中止・再考の基準】

・5回試行しても標的行動(指導目標)が生起しない時は, 指導目標や手立てを再考する

【記録表】

記録の取り方: 身体ガイダンスなし…2点, 身体ガイダンスあり…1点, 身体ガイダンスありでもできなかった…0点

	例 11/○(曜日)				
本の名前					
“タイマーが20秒鳴った後, 教師の「終わり」の声かけ”が2セット行われている時に, いつ終わったか? ※1回目のタイマーが鳴ってから, 本に手をかけようとする行動が見られるまでを計測					
点数(2点 or 1点 or 0点)					

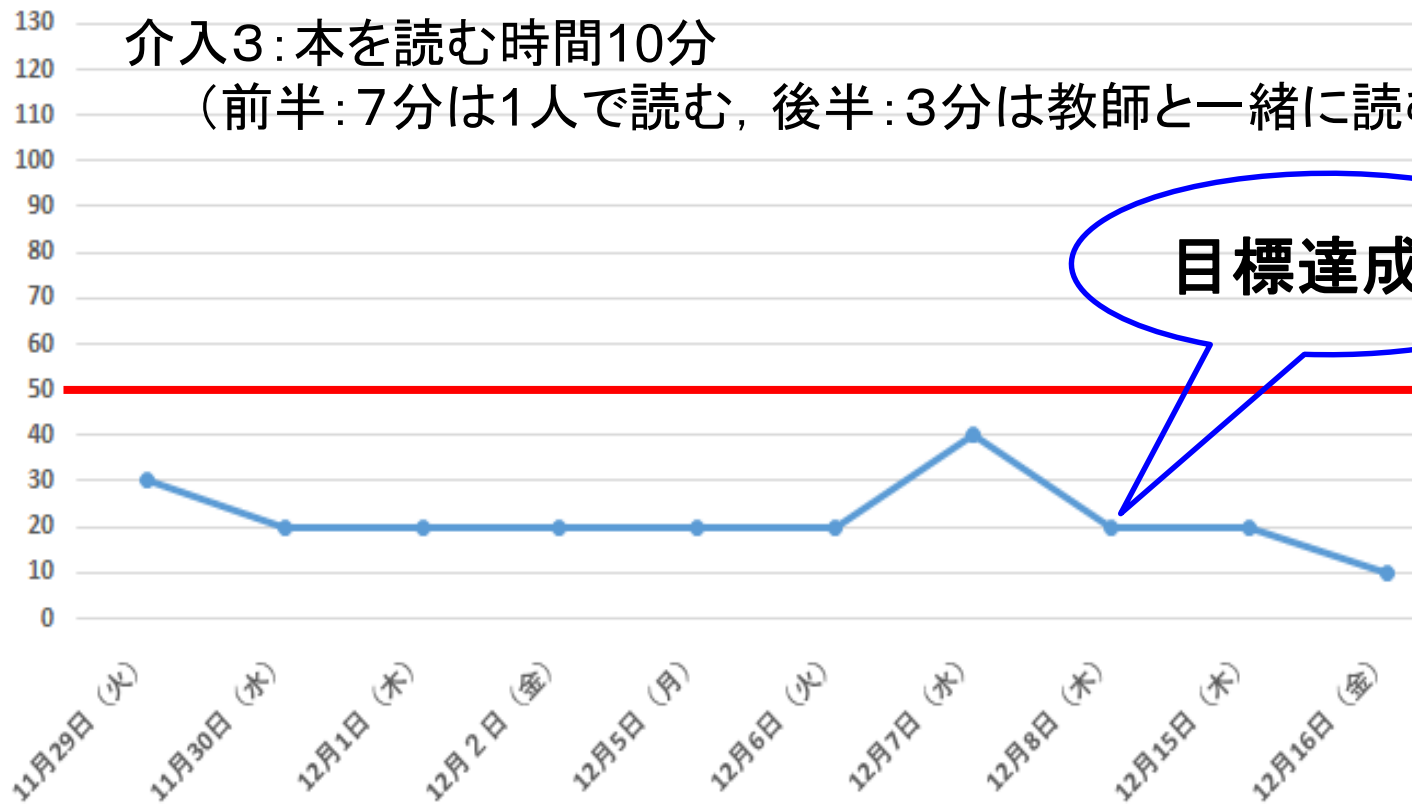
介入3: 1回目のタイマーが鳴ってから、何秒で本に手をかけて本を閉じようとしたか

(秒)

介入3: 本を読む時間10分

(前半: 7分は1人で読む, 後半: 3分は教師と一緒に読む)

50秒



目標達成!

結果

- 介入2では、本の読み進み具合によって、スムーズに本に手をかけられることもあれば、本に手をかけないこともあり、結果にばらつきがみられた。
- 介入3では、毎回50秒以内に、本に手をかけることができた。

考察

- 人と関わるのが好きなので、一人で本を読んだ後に、教師と一緒に本を読む時間を設けたことが、効果があったのかもしれない。

今後

- 昼休みだけでなく，授業の間の休み時間等でも本を読む時間を持ち，時間の長短を問わず自主的に終われるようにしたい。
- 本だけでなくiPadを使用した時も終わりの時間を設定し，時間がくれば終われるようにしたい。